



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東 大

上場会社名 愛眼株式会社

コード番号 9854 URL <http://www.aigan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下條 三千夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 下 祥造

TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,169	△13.1	△1,185	—	△1,168	—	△1,915	—
24年3月期第3四半期	13,998	△4.5	△71	—	76	—	△90	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △1,884百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △107百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△97.97	—
24年3月期第3四半期	△4.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,792	17,775	85.5
24年3月期	22,476	19,783	88.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 17,775百万円 24年3月期 19,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,386	△8.5	△1,587	—	△1,622	—	△2,388	—	△122.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	21,076,154 株	24年3月期	21,076,154 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,666,267 株	24年3月期	1,396,930 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	19,557,407 株	24年3月期3Q	19,679,390 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気後退局面から緩やかな回復へと向かいつつあったものの、世界的な景気減速の影響もあり、先行きは依然不透明な状況が続いております。

眼鏡小売業界におきましても、所得の低迷と節約志向、企業間の販売競争の激化などで、厳しい経営環境が続いてまいりました。

このような状況のもと、当社グループでは平成24年1月より営業戦略「アイスタイリングサービス」を展開しNEW愛眼への転換を進めてまいりました。新ロゴの導入、マス媒体、Web広告等の活用、安心明朗なスマートプライス導入、POCOP第3弾やふちなしで軽さを追求したdue、スポーツテイストに満ちたヒュンメルなどオリジナル中心の機能別、ライフシーン別フレームの開発・投入、度数別・使用状況に合わせた最適なレンズ提案、白色基調の明るく清潔感が漂う既存店舗への改装と魅力的な店内演出など諸施策を実践し、消費者の皆様へ当社グループの変化の周知に努めてまいりました。

売上については、中・高級フレームの在庫が整備され着単価が下げ止まり傾向にあるものの、眼鏡小売部門が前期同時期に在庫一掃売り尽くしセールを実施し、各年齢層で販売着数を伸ばした影響もあり落ち込みました。サングラス、補聴器などは相談会等を実施し売上の維持・増加に努めたものの、結果的に売上は前期を下回りました。

経費については、消費者へNEW愛眼の周知を迅速に図るため、チラシやマス媒体、DMを積極的に活用したことで広告宣伝費が増加し、またNEW愛眼店舗として2店舗の新規開設、88店舗の既存店改装により備品費等が増加しました。しかしながら、9店舗の閉鎖に伴う賃借料の減少や人件費の圧縮、光熱費の節約、什器の規格化などによるコスト削減に努めた結果、前年を下回りました。

海外(中華人民共和国)におきましては、社会的不安要因があるものの、新規に3店舗を開設、1店舗を閉鎖し22店舗(フランチャイズチェーン店を含む)となりました。社会情勢が不安定ななか慎重な営業活動を進め、売上確保に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は12,169百万円(前年同四半期比13.1%減)となり、営業損失は1,185百万円(前年同四半期は営業損失71百万円)、経常損失は1,168百万円(前年同四半期は経常利益76百万円)、四半期純損失は1,915百万円(前年同四半期は四半期純損失90百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は20,792百万円、負債合計は3,016百万円、純資産合計は17,775百万円となりました。前連結会計年度末に比べ負債合計が323百万円増加し、純資産合計が2,007百万円減少した結果、自己資本比率は85.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,478	5,443
受取手形及び売掛金	957	866
商品及び製品	2,279	2,566
原材料及び貯蔵品	17	16
その他	172	207
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	10,895	9,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,665	7,625
減価償却累計額	△5,624	△5,573
建物及び構築物（純額）	2,041	2,052
土地	2,119	2,179
その他	2,764	2,857
減価償却累計額	△2,393	△2,420
その他（純額）	370	436
有形固定資産合計	4,531	4,668
無形固定資産	159	138
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,349	4,168
投資有価証券	843	1,412
長期預金	207	200
その他	1,511	1,124
貸倒引当金	△20	△11
投資その他の資産合計	6,890	6,894
固定資産合計	11,581	11,702
資産合計	22,476	20,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979	978
1年内返済予定の長期借入金	—	60
未払法人税等	129	85
賞与引当金	100	51
その他	958	883
流動負債合計	2,167	2,059
固定負債		
長期借入金	—	425
繰延税金負債	12	26
再評価に係る繰延税金負債	14	14
負ののれん	2	0
資産除去債務	353	344
その他	143	145
固定負債合計	525	957
負債合計	2,693	3,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	11,877	9,922
自己株式	△967	△1,050
株主資本合計	23,350	21,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	43
土地再評価差額金	△3,575	△3,575
為替換算調整勘定	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	△3,567	△3,536
純資産合計	19,783	17,775
負債純資産合計	22,476	20,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	13,998	12,169
売上原価	4,436	4,034
売上総利益	9,562	8,135
販売費及び一般管理費	9,633	9,321
営業損失(△)	△71	△1,185
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	9	8
受取家賃	27	28
役員退職慰労引当金戻入額	101	—
負ののれん償却額	3	1
その他	69	50
営業外収益合計	231	106
営業外費用		
支払利息	—	2
固定資産除却損	4	45
店舗閉鎖損失	35	9
賃貸費用	23	23
その他	19	9
営業外費用合計	83	90
経常利益又は経常損失(△)	76	△1,168
特別利益		
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	0	2
減損損失	92	162
特別退職金	—	502
特別損失合計	93	667
税金等調整前四半期純損失(△)	△15	△1,836
法人税、住民税及び事業税	77	78
法人税等調整額	△2	0
法人税等合計	75	79
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△90	△1,915
四半期純損失(△)	△90	△1,915

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△90	△1,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	31
土地再評価差額金	2	—
為替換算調整勘定	△1	0
その他の包括利益合計	△16	31
四半期包括利益	△107	△1,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107	△1,884

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。